

中運交企第151号
令和5年3月10日

三島市地域公共交通網形成協議会
会長 市川 顯 殿

中部運輸局長
(公印省略)

令和4年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について(通知)

日頃より国土交通行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般報告された標記事業にかかる一次評価について、これを基に二次評価を行ったため、別紙のとおり通知します。

なお、二次評価結果は協議会等において共有するとともに、次年度以降の計画等に反映いただくようお願いいたします。

【問合せ先】
中部運輸局交通政策部 交通企画課
TEL:052-952-8006

自治体・協議会名	三島市地域公共交通網形成協議会
評価対象事業	調査事業(計画策定)

二次評価結果

評価できる取組

- ・地域公共交通計画の策定を令和4年度末までに予定しており、計画どおり実施されていることが確認できました。
- ・市内を走るコミュニティバスが継続的に運行できるよう、今年度よりバス停留所オーナー制度に取り組んでおり、今後、同制度を含めた「地域サポーター制度」の創設に向け積極的に取り組んでいる点について評価します。
- ・自主運行バス「大場分譲地線(花のまち号)」について、通勤・通学需要の多い朝夕はバス車両、買い物需要の多い日中は小回りの利くタクシー車両に分ける等工夫を凝らすことにより、運行経費を節減しつつ、かつ住民利便性の向上に結びつけているため、この点について評価します。

期待する取組

- ・次期計画の取組施策である三島駅南口駅前広場の再整備を進め、まちづくりと連携した地域の拠点形成に取り組まれることを期待します。三島駅は近隣市町にとっても交通結節点としての機能を有していることから、周辺自治体との連携についてもご検討ください。
- ・市内を運行する地域間幹線系統のうち輸送量が低迷している系統について、県・市町・事業者間で認識の共有を行うとともに、当該系統の利用促進や系統維持に向け、関係者間で連携して取組を実施されるよう期待します。特に、「大場函南線」は2年連続で輸送量が15人を割っている危機的な状況であり、このままでは当該系統の存続が危ぶまれるため、早急に対策を講じるようお願いいたします。